

理事会報告

日本菌学会 2017 年度第 3 回理事会 議事録

日時：2017 年 12 月 23 日（土） 12:00~17:00

場所：東京理科大学葛飾キャンパス・研究棟 11 階生物
工学科ゼミ室 1出席者（順不同，敬省略）：会長 山岡裕一，副会長
矢口貴志，理事 岡根 泉（庶務），清水公德（庶
務），田中千尋（企画・普及），玉井 裕（日本菌学会
会報編集責任者），出川洋介（国際集会），中島千晴
（会計），名部みち代（国内集会），服部 力（編集委
員長），山田明義（国内集会），幹事 伴さやか（庶
務），本橋慶一（会計），喜友名朝彦（庶務）。

委任状提出：太田祐子（企画・普及）

会議成立の確認：理事会の開催に先立ち，会長，副会
長，理事 10 名の出席（委任状含む）により，理事會
が成立したことを確認した。**会長挨拶**：理事会の開催にあたり，山岡会長より挨拶が
あった。

報告事項

資料をもとに以下の事項の報告があり，承認された。

1. 庶務関係（岡根・清水理事）

1) **会員動向**：2017 年 7 月現在，正会員 619 名（国内 579，
国外 40），学生会員 143 名（国内 128，国外 15），英
文誌購読会員 33 名（全て国外），終身会員 141 名（全
て国内），名誉会員 25 名（国内 21，国外 4），功労会
員 2 名，賛助会員 15 社，会員総数 978 名。2) **会員説明会の開催**：総会での報告・審議事項等につ
いての会員説明会を以下のとおり行った。なお，出
席者からの質問および意見はなかった。日時：2017
年 8 月 29 日（火）11:00~12:00；場所：東北大学
川内キャンパス A 棟 A202 号室；出席者数：74 名。3) **終身会員対象希望調査**：終身会員に会員資格継続や
郵送物の受取希望等について確認を行った結果，会
員資格継続に対して，不要，明確な意思表示が無い方
および返信無の方が判明した。4) **メール会議の開催状況**：2017 年 9 月から 10 月にか
けて，3 回のメール会議を行った。・ 第 9 回（9 月 2~8 日）会員 ML および HP 掲載情
報に関する方針について（原案承認）・ 第 10 回（9 月 3~8 日）終身会員の確認に関するハ
ガキについて（原案承認）・ 第 11 回（9 月 15~10 月 20 日）菌学会発表要旨の
J-stage 搭載案について（原案承認）

5) 第 61 回大会の講演要旨について

・ 日本大学図書館より，合同大会の講演要旨について，
オンラインから PDF ファイルをダウンロードして
書庫に入れても良いかと連絡があったことに対し
て，図書館の責任の範囲で対処してほしい旨の回答
をしたことが報告された。・ 第 61 回大会は合同大会のため，菌学会のみの講演
要旨は存在しないが，合同大会要旨集から菌学会関
連のみ抽出して，J-stage に掲載することが説明さ
れた。また，第 61 回大会の要旨集としてまとめてお
く必要があるのではないかと意見が出された。

2. 国内集会関係（山田・名部理事）

1) 日本菌学会第 61 回大会（環境微生物系学会合同大
会 2017）開催会期：2017 年 8 月 28 日（月）~31 日（木）；会場：
東北大学川内北キャンパス；大会会長：齋藤雅典氏
（東北大学）；会期日程に沿って全ての日程を無事終
了したことが報告された。また，会計報告について，
大園委員に確認することとした。2) 2017 年度日本菌学会菌類観察会（銚子フォーレ；
共催：菌類懇話会，千葉菌類談話会）会期：2017 年 9 月 22 日（金）~24 日（日）；会場：
千葉科学大学ならびに千葉県銚子市（君ヶ浜しおさ
い公園）・東庄町（東庄民の森）；実行委員長：糟
谷大河氏（千葉科学大学）；講演会：22 日（日）千
葉科学大学 マリーナキャンパス，観察会：23 日（土），
「君ヶ浜しおさい公園」および「東庄民の森」，同
定会場は千葉科学大学本部キャンパス；参加者：86
名；会計については 11 月末に処理済であるとの報告
がなされた。

3) 日本菌学会第 62 回大会（信州）の開催計画（案）

会期：2018 年 5 月 25 日（金）~27 日（日）；会場：
信州大学農学部（伊那キャンパス）；大会会長：福田
正樹氏（信州大学農学部）；会告を日菌報 58 巻 2 号
（2017 年 11 月）に掲載し，大会申し込みの web 受
付を開始したこと，大会 2 日目（土曜）の午後に日韓
国際シンポを組み込む予定（会告から日時変更あり）
であることが報告された。4) 2018 年度日本菌学会菌類観察会（島根フォーレ；
共催：島根県立三瓶自然館サヒメル，島根県中山間
地域研究センター）（案）会期：2018 年 9 月 22 日（土）~24 日（月・祝）；会
場：島根県大田市，三瓶山周辺；実行委員長：長澤栄
史氏（菌草研究所）；会告をニューズレター（2018 年
3 月）に掲載予定であることが報告された。

3. 国際集会関係（出川理事）

1) ICSEM9 第 9 回国際変形菌類分類生態学会議の実
施報告会期：2017 年 8 月 18 日（金）~22 日（火），和歌
山県田辺市にて開催；日本変形菌研究会主催，田辺

市・南方熊楠顕彰会・日本菌学会共催として実施；公開講演会の一般参加者 220 名；ニュースレター(NL)等に報告記事投稿予定であることが報告された。

2) **アジア国際菌学会 (AMC2017, ベトナム) についての報告**

会期：2017 年 10 月 10 日 (火)～13 日 (金)，Tan Son Nhat Hotel, HCMC, Vietnam. にて開催；参加者数 198 名(日本人参加者数 35 名)；Plenary lecture 6 section, Oral 14 section, 64 Poster session. 日本菌学会主催シンポジウムを企画・実施：外生菌根に関する話題(コンピナー：山田明義氏，山中高史氏)。Mycoscience の国際発信力強化の一環として AMC2017 の期間中に国際シンポジウムを主催し，開催費用を支出したことが報告された。なお，日本からは 3 名(玉井裕氏，山田明義氏，山中高史氏)が講演した。また，4 名の若手会員に対する AMC2017 参加経費支援を行い，NL に参加報告が投稿されたことが報告された。

3) **台湾日本合同シンポジウム (2017 台日真菌學術研討會) 開催についての報告**

会期：2017 年 10 月 21 日 (土)，台湾大学にて開催，参加者：台湾側約 150 名，日本側 8 名，学生参加者より NL に参加報告が投稿中であることが報告された。また，Mycoscience の国際発信力強化の一環として日本側から植物病理学に関する内容の講演のため，2 名の演者(青木孝之氏，中馬いづみ氏)を派遣したことが報告された。

4) **国立科学博物館国際シンポジウム 2017 Fungi with Plants, Animals and Human beings (菌類と動物・植物・人間の関わり) 開催の企画・演者選定協力**

会期：2017 年 11 月 10 日 (金)～12 日 (日)，国立科学博物館上野本館講堂にて開催；国立科学博物館主催，日本菌学会協力；参加者数：1 日目(事前・当日 45 名，意見交換会 33 名)，2 日目(事前・当日 31 名)，3 日目(事前・当日 84 名)；4 セッション，13 演題+4 演題にて，盛況の裡に幕を閉じたことが報告された。

5) **AMC2019 の誘致に向けた準備状況について**：本議事録その他参照のこと。

4. **企画・普及関係 (田中理事)**

1) **新 HP 整備の進捗状況について**：以下の通り報告された。

- ・ 2017 年 9 月 13 日 (水)：第 1 回 HP ワーキング開催(場所：国立科学博物館上野本館)，現 HP 分析，新 HP 方針確認，新コンテンツ案の作成を行った。
- ・ 2017 年 10 月 20 日：第 2 回 HP ワーキング開催(場所：京大東京オフィス)，新 HP デザイン案，新コンテンツページ作成担当，今後のスケジュールを決定した。
- ・ 2017 年 10 月 27 日 (金)：細矢氏と勝美印刷担当者

による会合を開催した(場所：勝美印刷)，HP 作成のスケジュールと内容を決定，見積提示を受けた。2018 年 1 月頃に内部公開予定で，年度内にコンテンツ納品，公開予定である。

2) **AMC2017 (ベトナム) における宣伝活動について**

2017 年 10 月 10 日 (火)～13 日 (金) にベトナムホーチミン市で開催された AMC2017 において，ポスター会場に MSJ ブースを設置し，菌学会紹介ポスター掲示，菌学会パンフレット，Mycoscience 見本誌と販売促進用チラシ配布を行ったことが報告された。

3) **日本微生物生態学会・日本菌学会共催 「いきものマイクロ探検隊」について**

開催日・場所：2017 年 11 月 23 日 (木・祝)，茨城県自然博物館；主に子供を対象(募集は一般)としたバクテリア，カビ，原生動物の観察実習；参加者：約 45 名(大人，小学生，幼児)；日本菌学会からは講師として細矢剛氏(科学博物館)，ボランティアとして山田智子氏が参加したことが報告された。

4) **HP, SNS などの状況について**：以下の通り報告された。

- ・ 国内外の菌学会関連シンポ，学会等の情報を HP, ML, ツイッターで配信した。
 - ・ 新ウェブサイト構築に向けてホームページワーキンググループで検討した。現コンテンツの不足分を含め，内容整理している。内容は現行とほぼ変わらない予定である。
 - ・ 携帯対応の HP も検討中である。
- 5) **ニュースレターについて**：以下の通り報告された。ニュースレターの発行は順調であり，現在 NL2018-1 (1月号)の編集作業を進めている。

5. **編集委員会関係 (服部編集委員長・理事，玉井理事)**

1) **学会誌の発行状況**

1-1) Mycoscience について以下の通り報告された。

- ・ 58 巻 (2017) は 476 頁で確定 (オープンアクセス 15 頁含む) (契約頁数 420)。
- ・ 59 巻 (2018) (契約頁数 420)：59(1)は pp. 97 (Jan 2018)。
- ・ 現在，2 号分の論文ストックを確保している。IF 向上のために早期出版を心がけている。

1-2) 日本菌学会会報 (以下，日菌報) について以下の通り報告された。

- ・ 58 巻 1 号，2 号まで出版済。
- ・ 2016 年度奨励賞受賞論文の原稿待ちの状態である。

2) **学会誌の投稿状況**

2-1) Mycoscience：2017 年中の審査論文約 180 報 (見込)，2016 年より若干減少しているが，

受理率が回復しており（質の悪い論文は減少している）、掲載論文減少にはつながらない見込み。

2-2) 日菌報：2017年（1月1日～12月20日）の投稿数は6報（掲載済5、審査中1）。

- 3) **新タイプセットモデルの導入**：以下の通り報告された。
 - ・ 59巻より新タイプセットモデルが導入され、Proofタイプセットミスも減少している。今後スタイルチェックの手間がやや省力できる見通しである。
 - ・ 引用文献内などに一定量のタイプセットミスが見られ、著者・編集者校正時に注意が必要である。
 - ・ 2017年8～9月頃に受理した論文のProofsが大幅に遅れて11月頃になってしまった（システム変更に伴うエルゼビア社側の問題）。
- 4) **Elsevier Editorial System (EES) から EVISE への移行について**：以下の通り報告された。
 - ・ 2018年2月よりEVISEに移行するとの連絡があり、現在、エルゼビア社担当者とシステム調整中である。
 - ・ EVISEではこれまでEESを通じて行ってきた会員確認ができなくなることから、会員番号や投稿料支払い意思確認などを行うプロセスを追加する必要がある。
 - ・ 編集委員個別にエルゼビア社よりEVISE操作研修の案内が送られている。
- 5) **編集委員会の開催（平塚賞候補論文の選出）について**：2017年9月12日（火）：2017年度第3回編集委員会（参加者33名）において、論文2編を候補論文として編集委員会から推薦することが承認された。
- 6) **ISAM 特集号について**：12月現在、受理5報、スタイルチェック中1報、審査中（major revision 2報）、著者修正中4報（major revision 3報、minor revision 1報）であり、単独号として出版に必要な受理論文が揃っていないこと、8～9報（新種記載1報含む）で単独号として早急に出版したいことが報告された。
- 7) **編集経費について**：Mycoscience関係は支出の予定はなし、日菌報関係は英文校閲料とJ-stage早期公開作業料として支出予定があることが報告された。
- 8) **その他**：投稿規定（GfA）改訂版を近々公開予定である（APAスタイル）ことが報告された。
6. **会計関係（中島理事（本橋幹事代読））**
 - ・ 2017年度一般会計および特別会計の執行状況について、資料を元に説明が行われ、現時点で大きな問題もなく順調に進んでいると報告がなされた。
7. **その他（山岡会長）**

AMC2019 開催準備について

- ・ 日本菌学会 2017年度第2回理事会（2017年8月28

日）において、2019年10月に三重県総合文化センター（三重県津市）にてAMC2019を誘致・開催する案が提案され、承認されたことを受け、2017年9月16日、AMC2019第一回招致委員会を開催（三重県津市）、2017年10月11日：AMC2017（ベトナム）会期中のAMA committee meetingにて、誘致のためのプレゼンテーションを実施し、投票の結果採択されたことが報告された。

審議事項

以下について各担当者から提案され審議された。

1. 庶務関係（岡根・清水理事）

1) **終身会員について**：終身会員としての継続意思がない、あるいは連絡不能の会員の対応についてどうするか審議の結果、以下の内容が決定された。

- ① 継続意思の無い方は会員名簿から削除し、退会扱いとし、送付物は全て停止する。
- ② 返信が無い方は送付物を全て停止し、要望に応じて再開する（退会扱いとはしない）。
- ③ 住所不明および郵送物全て不要の方は、郵送を全て止めて、会員名簿には名前だけを残す。郵送物全て不要の方には年1回、年度初めに大会等の案内通知を行う。その際、往復はがきで通知をし、連絡に応じて会員名簿記載事項を更新する。

2) **各種規則等の修正について**：資料をもとに、役員・代議員選挙規則および各種規則、規程および細則の修正点について、読み合わせによる内容の確認を行った。また、現在、ホームページには定款のみ掲載しているため、各種規則・細則等についても順次掲載すべきとの意見が出された。

2. 国内集会関係（山田・名部理事）

1) **日本菌学会第63回大会開催（案）策定について**：秋田県立大学の村口元准教授より大会開催の内諾を得ており、秋田県を開催会場として検討中であり、例年通りの時期に開催することが提案され、承認された。

2) **2019年度日本菌学会菌類観察会（案）について**：開催地、日程について検討中であることが報告され、承認された。

3. 国際集会関係（出川理事）

1) **日本菌学会第62回大会（信州）における日韓合同シンポジウム（案）の開催について**：韓国側から2～3名の演者を招待予定であること、演者の大会参加費について、国際シンポジウム費用として対応するか検討することが承認された。

2) **IMC11（2018年7月、プエルトリコ）について**：日本菌学会として、若手への渡航支援の実施を計画

することが承認され、詳細は後日メール会議にて審議することとした。

- 3) **台湾合同大会について**：Mycoscience への論文投稿を前提として交渉し、また、費用の捻出は要検討課題とすることが承認された。

4. 企画・普及関係（田中理事）

- 1) **ミニ観察会（自然館サヒメル主催）の協力について**：2018年度日本菌学会菌類観察会（島根フォーレ）終了後の2018年9月24日（月・祝）午前開催予定のミニ観察会（自然館サヒメル主催、地域の小中高生対象）に菌学会として人的協力を国内集会担当理事と協力して行っていく予定について、審議の結果、承認された。

- 2) **HP, ML 等での情報発信内容について**：「図鑑.jp」に菌類ジャンルが追加されたことを受けて、HP や ML 等で情報発信すべきか審議した結果、慎重に対応することとした。

5. その他（山岡会長）

AMC2019 開催準備について

- ・ AMC2019 開催案の基本計画について説明があり、審議の結果、計画案の内容が承認された。
- ・ 運営体制（準備委員会）については今期中に役割分担を決定することが報告され、承認された。
- ・ 日本菌学会が中心となり、準備委員会を立ち上げ、準備を進めることが承認された。また、パンケットを1回にして、出来るだけ経費を節約する方向に進めたいこと、外注できる事務作業は全て JTB に外注できるようにしたいことが提案され、承認された。
- ・ プログラムについては実行委員内で自主的な調整・参加を促し、国際学会のオーガナイズの経験を積む意図があることが説明された。

以上